



かわ版

米穀機構 情報部

No. **20**
2011年12月発行

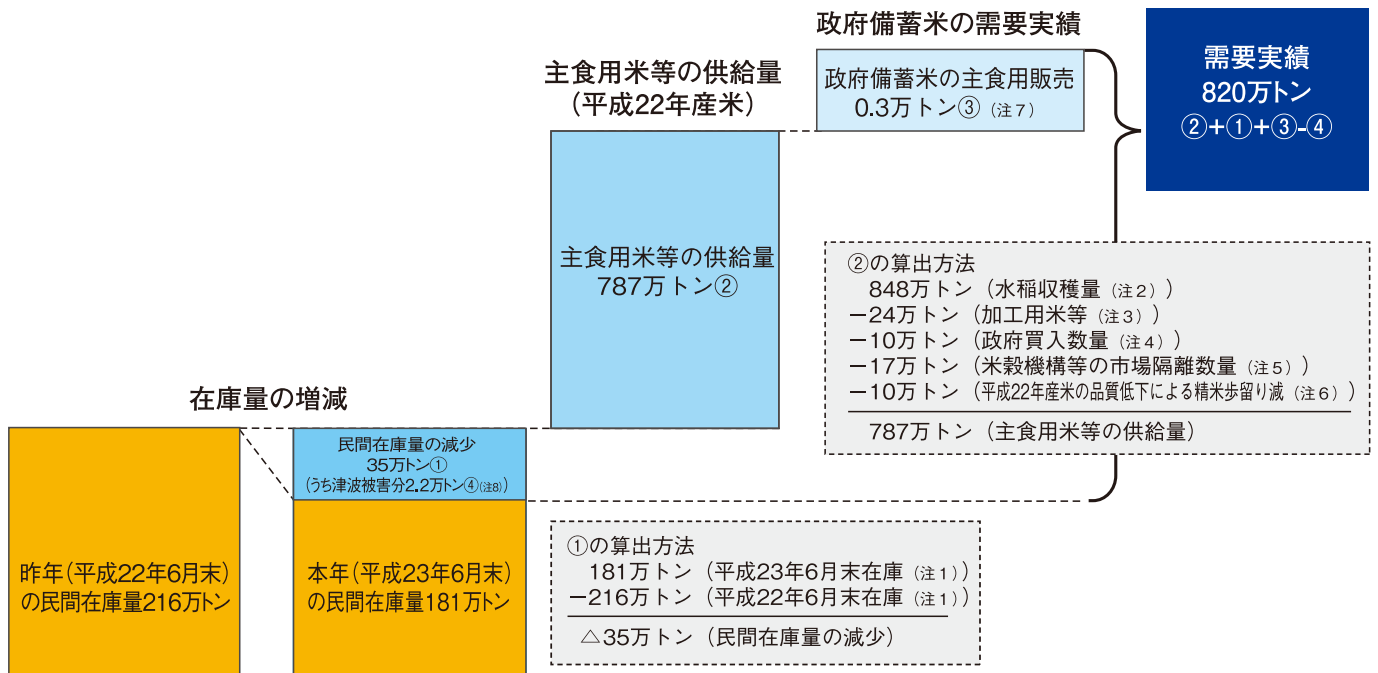
(社)米穀安定供給確保支援機構(米穀機構)情報部
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15-15
TEL.03-4334-2161 FAX.03-4334-2167

米穀機構情報部では、お米に関する様々な情報をホームページ「米ネット」及び紙媒体により提供しています。
今回は、米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針(平成23年11月公表)及び参考資料を基に、米穀の需要実績及び需給見通し、平成24年産米の都道府県別生産数量目標、新規需要米等の取組状況などについて情報提供いたします。

I 米穀の需要実績

平成22/23年(平成22年7月から平成23年6月までの1年間)の需要実績(確定値)は、図表1のとおり820万トンとなります。

図表1 平成22/23年の需要実績



注1:6月末在庫量は、玄米の取扱数量が年間500トン以上の届出事業者の在庫量に10a以上の作付生産者の在庫量推計値を加えたものである。

注2:水稲収穫量は、平成22年産米の水稲収穫量(「作物統計」農林水産省大臣官房統計部)である。

注3:加工用米等は、米穀の需給調整実施要領第3において需給調整の取組として取り扱う米穀等として定める加工用米及び新規需要米(飼料用及びバイオエタノール用を除く。)であって主食用米等へ供給されないことが確認された米穀である。

注4:政府買入数量は、平成22年産米の政府買入数量である。

注5:米穀機構等の市場隔離数量は、集荷円滑化対策の過剰米対策基金を活用して、主食用米を飼料用等に処理することが予定されている数量である。

注6:平成22年産米の品質低下による精米歩留り減は、販売業者からの聞き取りを踏まえ、例年に比べ▲1.5ポイントとして推計した数量である。

注7:政府備蓄米の主食用販売は、平成22年7月から平成23年6月までの政府備蓄米の主食用への販売数量である。

注8:地震・津波被害は、全国出荷団体及び全国米穀販売事業共済協同組合からの聞き取りである。

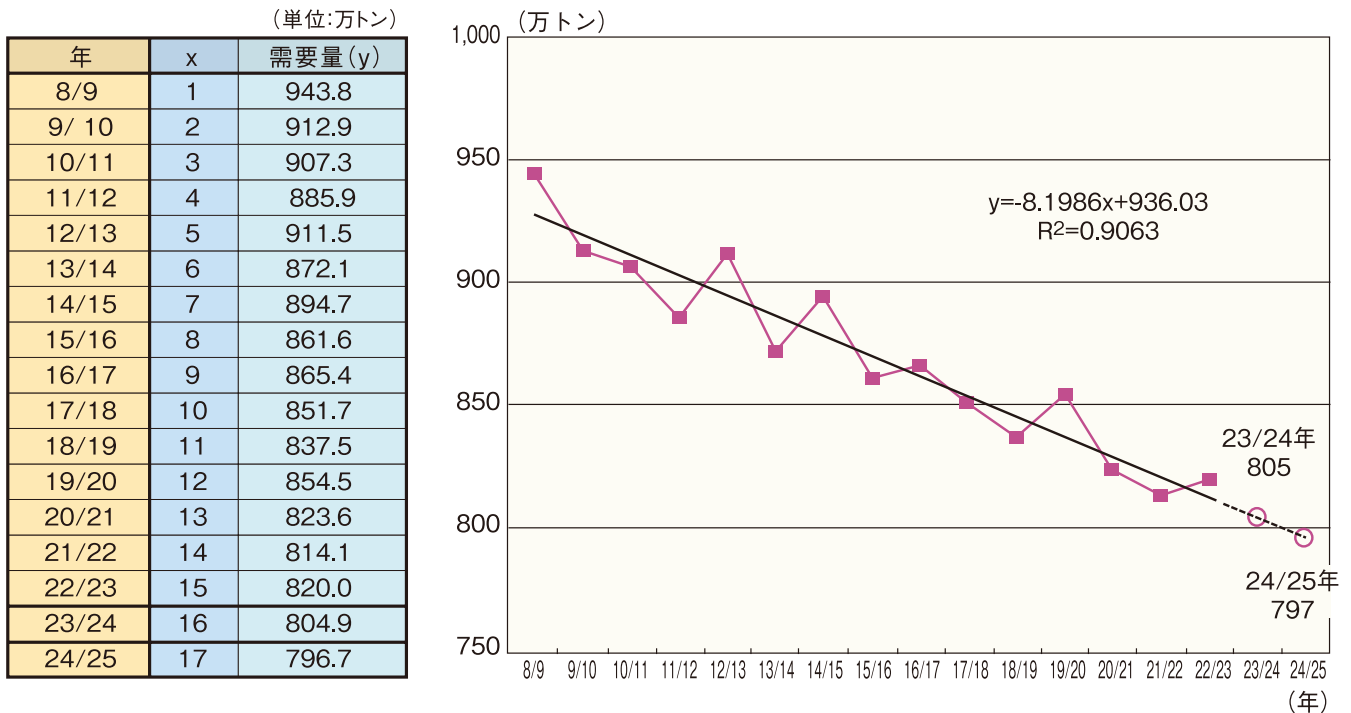
注9:ラウンドの関係で計が一致しない場合がある。

II 米穀の需給見通し

1. 全国の平成23/24年及び平成24/25年の需要見通し

全国の需要見通しは、平成16年7月策定の基本指針において最近の米の消費量を踏まえて採用した手法により、平成8/9年(平成8年7月から平成9年6月までの1年間)以降から直近の平成22/23年までの全国の需要実績を用いてトレンド(回帰式)で算出すると、平成23/24年(平成23年7月から平成24年6月までの1年間)は805万トン、さらに平成24/25年(平成24年7月から平成25年6月までの1年間)は797万トンとなります(図表2)。

図表2 平成8/9年～平成22/23年の全国の需要実績を用いた算出方法



2. 平成23/24年の需給見通し

平成23年6月末の民間在庫、平成23年産主食等米等の生産量、平成23/24年主食用米等需要量から算出した、平成23/24年の主食用米等の需給見通しは図表3のとおりです。

図表3 平成23/24年の主食用米等の需給見通し

(単位:万トン)

		主食用米等
平成23年6月末民間在庫量	A	181
平成23年産主食用米等生産量	B	813
平成23/24年主食用米等供給量計	C=A+B	994
平成23/24年主食用米等需要量	D	805
平成24年6月末民間在庫量	E=C-D	189

III 平成24年産米の都道府県別生産数量目標

IIの1のとおり、全国の平成24/25年の需要見通しは797万トンと想定されますが、平成22/23年の需要実績が820万トンに確定し、平成22年産米の生産実績824万トンと比較すると、その差4万トンの超過生産となったことを踏まえ、全国の平成24年産米の生産数量目標は、平成24/25年の需要見通し797万トンから4万トンを控除し、793万トンと設定されています。

平成24年産米の都道府県別の生産数量目標は、従来方式(全国の生産数量目標を基に各都道府県ごとの過去6年の需要実績中、中庸4年分の平均値のシェアで算出することを基本)により設定され、図表4のとおりとなります。

図表4 平成24年産米の生産数量目標(平成23年産米との比較)

都道府県	23年産米の生産数量目標		24年産米の生産数量目標		前年産との比較	
	トン	面積換算値 ha	トン	面積換算値 ha	トン	増減率 %
北海道	584,180	109,190	584,300	109,210	120	0.0
青森	292,950	45,340	259,570	44,600	▲ 3,380	▲ 1.3
岩手	282,020	52,910	282,470	53,000	450	0.2
宮城	367,950	69,420	373,560	70,480	5,610	1.5
秋田	440,420	76,860	443,640	77,420	3,220	0.7
山形	368,930	62,110	368,990	62,120	60	0.0
福島	363,680	67,720	360,330	67,100	▲ 3,350	▲ 0.9
茨城	356,480	68,550	351,830	67,400	▲ 4,650	▲ 1.3
栃木	323,420	60,000	321,510	59,540	▲ 1,910	▲ 0.6
群馬	81,860	16,570	82,090	16,620	230	0.3
埼玉	161,020	32,660	158,710	32,190	▲ 2,310	▲ 1.4
千葉	259,450	48,680	256,700	48,160	▲ 2,750	▲ 1.1
東京	780	190	840	200	60	7.7
神奈川	14,890	3,040	14,870	3,030	▲ 20	▲ 0.1
新潟	548,380	101,740	548,580	101,780	200	0.0
富山	195,980	36,630	196,480	36,730	500	0.3
石川	129,970	25,040	131,040	25,250	1,070	0.8
福井	133,410	25,800	132,870	25,700	▲ 540	▲ 0.4
山梨	28,790	5,260	28,660	5,240	▲ 130	▲ 0.5
長野	202,310	32,470	203,650	32,690	1,340	0.7
岐阜	120,650	24,720	120,320	24,660	▲ 330	▲ 0.3
静岡	87,430	16,780	86,780	16,660	▲ 650	▲ 0.7
愛知	142,540	28,110	141,180	27,850	▲ 1,360	▲ 1.0
三重	150,590	30,120	148,840	29,770	▲ 1,750	▲ 1.2
滋賀	169,410	32,700	171,190	33,050	1,780	1.1
京都	79,650	15,590	79,880	15,630	230	0.3
大阪	27,810	5,620	27,200	5,490	▲ 610	▲ 2.2
兵庫	190,970	37,890	189,470	37,590	▲ 1,500	▲ 0.8
奈良	43,890	8,560	43,570	8,490	▲ 320	▲ 0.7
和歌山	37,050	7,480	36,380	7,350	▲ 670	▲ 1.8
鳥取	71,400	13,890	71,640	13,940	240	0.3
島根	96,640	18,990	96,340	18,930	▲ 300	▲ 0.3
岡山	167,350	31,820	165,520	31,470	▲ 1,830	▲ 1.1
広島	132,980	25,430	133,880	25,600	900	0.7
山口	113,810	22,580	114,360	22,690	550	0.5
徳島	60,850	12,840	59,720	12,600	▲ 1,130	▲ 1.9
香川	73,550	14,740	72,450	14,520	▲ 1,100	▲ 1.5
愛媛	76,900	15,440	76,260	15,310	▲ 640	▲ 0.8
高知	52,800	11,500	51,560	11,210	▲ 1,240	▲ 2.3
福岡	191,750	38,430	190,950	38,270	▲ 800	▲ 0.4
佐賀	143,180	27,170	141,300	26,810	▲ 1,880	▲ 1.3
長崎	65,800	13,820	65,710	13,800	▲ 90	▲ 0.1
熊本	202,020	39,230	200,160	38,870	▲ 1,860	▲ 0.9
大分	123,860	24,620	123,640	24,580	▲ 220	▲ 0.2
宮崎	100,130	20,230	100,940	20,310	810	0.8
鹿児島	117,020	24,430	116,960	24,320	▲ 60	▲ 0.1
沖縄	3,090	1,000	3,070	990	▲ 20	▲ 0.6
全国	795万トン	150万ha	793万トン	150万ha	▲ 2万トン	▲ 0.3

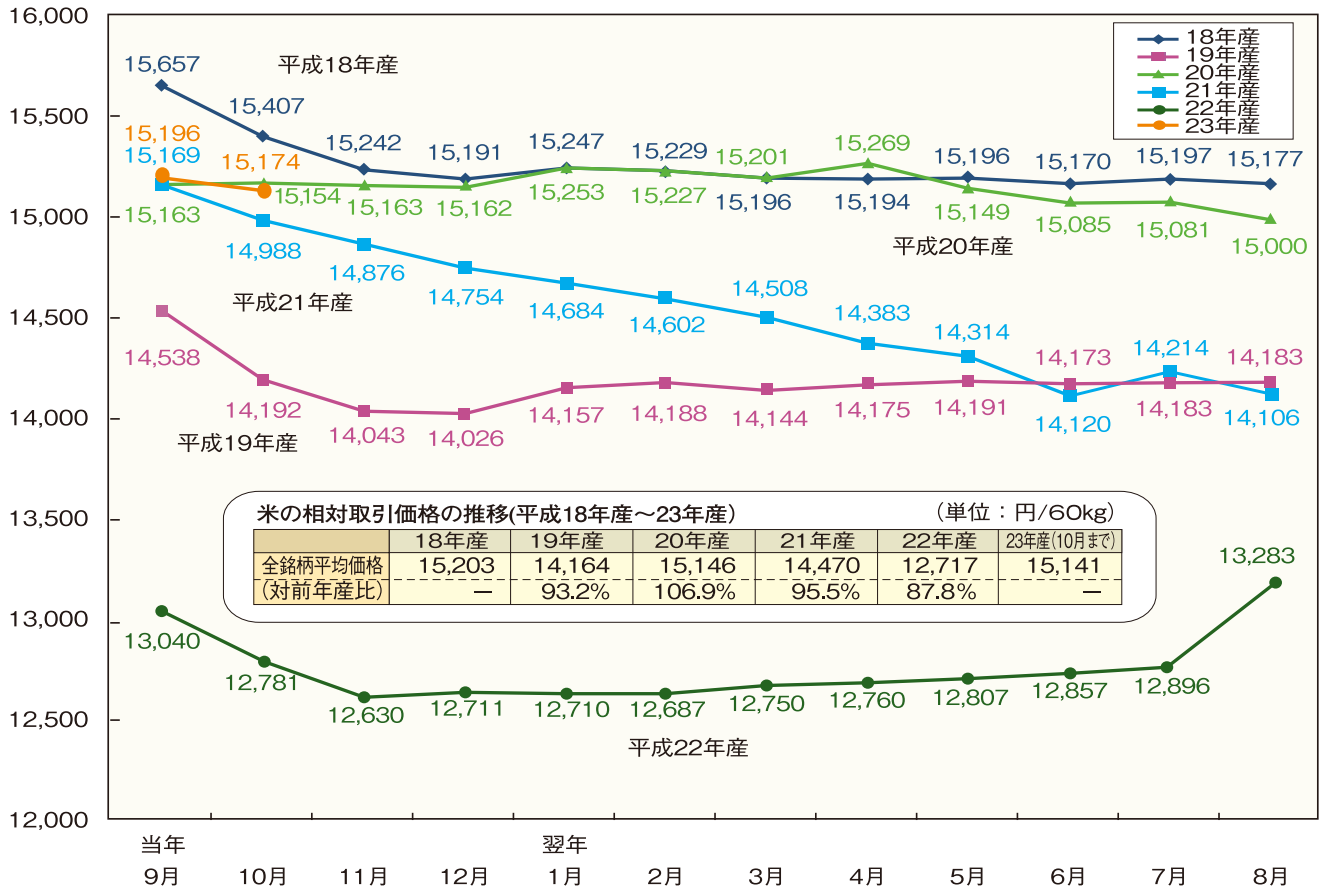
注:23年産米の生産数量目標は、都道府県間調整前の数値。

Ⅳ 米の相対取引価格の月別全銘柄平均の推移

民間流通における米の月別全銘柄の平均相対取引価格(平成18年産～23年産)は図表5のとおりです。

図表5 米の相対取引価格の月別全銘柄平均の推移(平成18年産～23年産)

(円/60kg)



資料:農林水産省調べ

注1:価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

2:産地品種銘柄ごとの価格を前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

3:米の相対取引価格の推移は、生産年の8月から翌年の10月までの価格を前年産検査数量ウェイトで加重平均した通年平均価格である。

Ⅴ 米の1世帯当たりの購入数量

米の1世帯当たりの購入数量(2人以上の世帯)は、図表6のとおりです。

図表6 一世帯当たりの米の購入数量(2人以上の世帯)

(単位・kg、%)

年	月	購入数量(kg)	対前年同月比(%)	年	月	購入数量(kg)	対前年同月比(%)	年	月	購入数量(kg)	対前年同月比(%)
平成21年	1	5.02	▲2.7	平成22年	1	4.92	▲2.0	平成23年	1	4.79	▲2.6
	2	5.59	▲4.3		2	5.60	0.2		2	5.11	▲8.8
	3	6.34	▲6.4		3	6.42	1.3		3	7.44	15.9
	4	6.62	2.2		4	6.40	▲3.3		4	5.95	▲7.0
	5	6.22	▲3.3		5	6.33	1.8		5	5.76	▲9.0
	6	6.06	▲6.0		6	6.43	6.1		6	5.84	▲9.2
	7	6.41	10.5		7	6.14	▲4.2		7	5.91	▲3.7
	8	6.61	9.3		8	6.24	▲5.6		8	6.11	▲2.1
	9	9.75	▲3.0		9	8.93	▲8.4		9	8.52	▲4.6
	10	11.24	0.3		10	10.31	▲8.3		10	11.67	13.2
	11	8.04	▲18.1		11	7.92	▲1.5				
	12	7.15	▲13.5		12	7.50	4.9				

資料:総務省「家計調査」(2人以上の世帯)

Ⅵ 新規需要米等の用途別取組状況

1. 新規需要米等の用途別取組面積

平成23年産米において、加工用米や米粉用米等の用途限定米穀は93,706ha作付され、平成22年産に対して17,307ha増加しています。

図表7 新規需要米等の用途別取組状況(平成20年産～23年産)

用途区分	平成20年産		平成21年産		平成22年産		平成23年産	
	認定数量(トン)	認定面積(ha)	認定数量(トン)	認定面積(ha)	認定数量(トン)	認定面積(ha)	認定数量(トン)	認定面積(ha)
米粉用米	566	108	13,041	2,401	27,796	4,957	40,311	7,324
飼料用米	8,020	1,410	23,264	4,123	81,237	14,883	183,033	33,955
WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)	—	9,089	—	10,203	—	15,939	—	23,086
バイオエタノール用米	2,426	303	2,314	295	2,940	397	2,998	415
輸出用米	391	74	926	164	2,184	388	1,626	287
その他 (わら専用稲、青刈り用稲等)	982	1,330	1,108	956	694	508	852	501
合計	12,386	12,314	40,654	18,142	114,851	37,072	228,820	65,569

注1:WCS用稲、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため認定数量はなし。

注2:平成23年産は10月15日現在。

注3:なお、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(参考)

加工用米	149,048	27,332	141,168	26,126	212,829	39,327	154,973	28,137
------	---------	--------	---------	--------	---------	--------	---------	--------

※加工用米の数量については、平成20～平成22年産は実績値。平成23年産は10月15日現在。

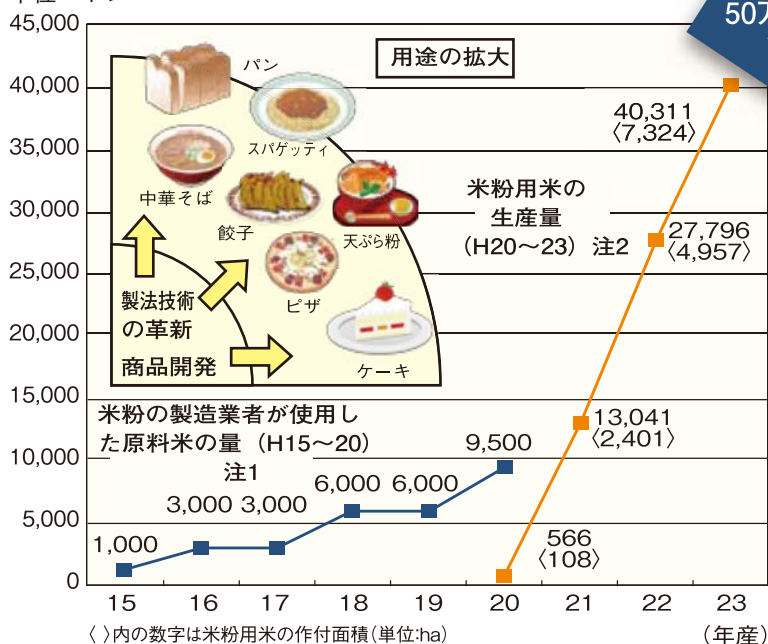
2. 米粉用米の動向

パン用・麺用等について米粉の利用促進が図られ、これまでの地域・中小企業の取組みに加え大手企業も取り組みはじめたことから、米粉用米の生産量は平成23年産で約4万トンに増加しています。

また、米粉パンを学校給食で導入した学校は、平成21年度で12,221校と給食実施校の約4割に増加しています。

○ 米粉用米の動向

単位：トン



()内の数字は米粉用米の作付面積(単位:ha)

注1:地方農政事務所等による製粉業者等からの聞き取り

注2:農林水産省調べ(新規需要米取組計画認定結果から抜粋)

注3:食料・農業・農林基本計画(H22年3月閣議決定)

○ 都道府県別の米粉用米の生産状況(H23年産)

	生産数量(トン)	作付面積(ha)
新潟県	14,384	2,571
栃木県	6,342	1,256
秋田県	4,396	661
山形県	1,408	233
宮城県	1,326	243
富山県	1,111	204
熊本県	1,023	184
埼玉県	1,008	206
岡山県	783	148
群馬県	772	157
千葉県	743	139
福岡県	663	132
.....
全国合計	40,311	7,324

注:農林水産省調べ

(新規需要米取組計画認定結果から抜粋)

○米粉パンの学校給食導入状況

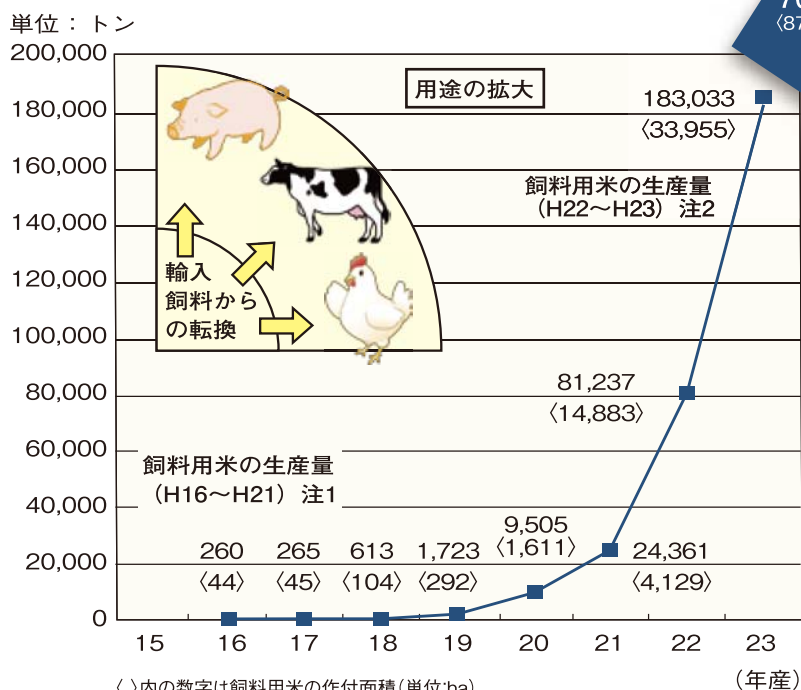
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
米粉パン学校給食導入校数(校)	4,067	6,063	7,836	8,067	8,960	12,221
給食実施校数(校)	31,902	31,662	31,476	31,362	31,140	31,001
米粉パン導入の割合	13%	19%	25%	26%	29%	39%

注:農林水産省調べ

3.飼料用米の動向

豚・鳥等について飼料用米給与の促進をが図られ、飼料用米給与畜産物に対する畜産農家や消費者の理解も深まりつつあることから、飼料用米の生産量は平成23年産で約18万3千トンに増加しています。

○飼料用米の市場規模の推移



()内の数字は飼料用米の作付面積(単位:ha)

注1:農林水産省畜産振興課調べの作付面積に、単収590kg/10aを乗じて算出

注2:農林水産省調べ(新規需要米取組計画認定結果から抜粋)

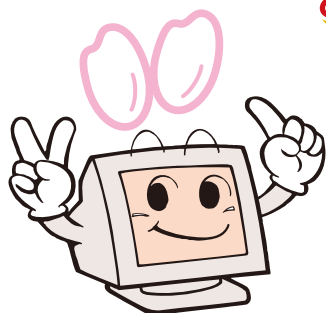
注3:食料・農業・農村基本計画(H22年3月閣議決定)

○都道府県別の飼料用米の生産状況(H23年産)

	生産数量(トン)	作付面積(ha)
青森県	20,049	3,511
栃木県	14,403	2,662
山形県	13,830	2,347
秋田県	11,915	1,848
新潟県	10,158	1,883
岩手県	9,809	1,811
宮城県	9,463	1,763
茨城県	8,593	1,635
福島県	8,530	1,601
熊本県	5,994	1,118
.....
全国合計	183,033	33,955

注:農林水産省調べ
(新規需要米取組計画認定結果から抜粋)

お米・ごはん情報満載のホームページ **米ネット**



米穀機構のホームページ「米ネット」では、お米の価格・消費・生産などの統計データをはじめ、生産者及び販売業者の皆様向けにお米に関する最新の情報を常時提供しています。

また、生産者及び販売業者の皆様からの情報提供や「米ネット」に関するご

提案・ご要望をお待ちしております。「お米生産・流通・価格ゾーン」、「生産者のコーナー」等の中の「このページについての意見・感想を投稿する」の投稿フォームからEメールをご利用ください。皆様のアクセスをお待ちしています。